# 平成30年度青森支部事業計画の上期の進捗状況について

# 〈目次〉

1.	青森支部事業概況	(基礎データ)	 1百~3百
<b>-</b> .			 レデ フデ

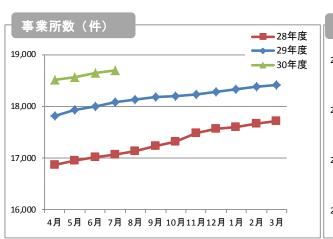
- 2. 平成30年度青森支部事業計画KPI達成状況····4頁~6頁
- 3. 基盤的保険者機能関係・・・・・・・・・7頁~15頁
- 4. 戦略的保険者機能関係・・・・・・・・・・16頁~28頁
- 5. 組織体制関係・・・・・・・・・・・・・・・・29頁~30頁

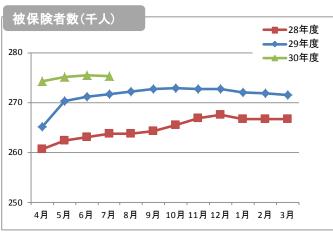


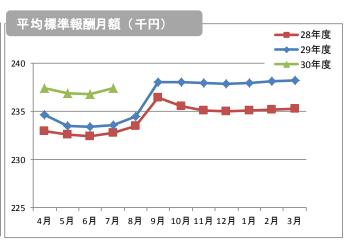
1. 青森支部事業概況(基礎データ)

# 適用関係の推移

	事業所	数(件)	加入者数(人)						平均標準報	酬日額(円)
	チベバ	<b>3</b>			被保険者	香数(人)	被扶養者	皆数(人)	1 -211, -14	EM/71 LE (1 1/
		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期
27年度平均	16,421	_	433,159	_	256,784	_	176,376	_	232,062	_
28年度平均	17,305	5.38%	440,523	1.70%	264,854	3.14%	175,669	▲0.40%	234,341	0.98%
29年度平均	18,167	4.98%	444,630	0.93%	271,439	2.49%	173,185	▲1.41%	236,327	0.85%
30年度平均	18,610	2.56%	446,086	0.33%	275,051	1.33%	171,035	▲1.24%	237,136	0.34%
平成30年4月	18,517	3.93%	446,685	1.79%	274,210	3.44%	172,475	▲0.74%	237,394	1.18%
平成30年5月	18,575	3.59%	445,834	0.49%	275,185	1.79%	170,649	▲1.54%	236,910	1.44%
平成30年6月	18,647	3.62%	445,955	0.43%	275,427	1.53%	170,528	<b>▲</b> 1.31%	236,783	1.46%
平成30年7月	18,702	3.44%	445,868	0.26%	275,382	1.32%	170,486	▲1.41%	237,455	1.66%



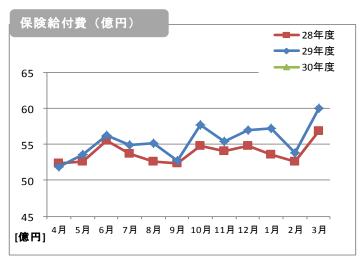


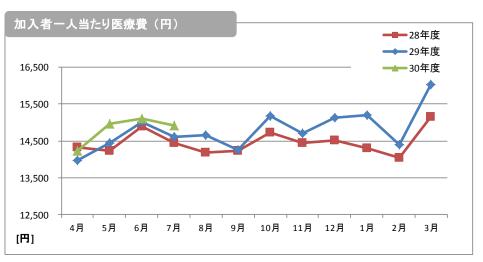


# 保険給付費と1人当たり医療費の推移

	保険約		加入者1							
	(百フ	5円)	医療費	費(円)	入	院	入院外(調剤	別分を含む)	歯	科
		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期		対前年同期
27年度平均	5,276	-	14,447		3,990	-	8,914		1,391	_
28年度平均	5,387	2.10%	14,456	0.07%	3,957	▲0.83%	8,940	0.29%	1,411	1.45%
29年度平均	5,549	3.01%	14,799	2.37%	4,024	1.70%	9,206	2.98%	1,418	0.46%
30年度平均	_	_	14,804	0.03%	4,031	0.15%	9,160	▲0.05%	1,461	3.09%
平成30年4月	_	_	14,239	1.96%	3,702	1.23%	9,002	2.49%	1,395	0.78%
平成30年5月	_	_	14,956	3.51%	4,137	4.30%	9,258	2.89%	1,407	5.39%
平成30年6月	_	_	15,101	0.65%	4,163	0.78%	9,260	0.59%	1,521	0.38%
平成30年7月	_	_	14,918	2.15%	4,121	1.42%	9,120	2.24%	1,523	3.87%

<sup>※</sup>保険給付費については、平成30年4月以降は現金給付費を精査しているため表記しておりません。





2. 平成30年度青森支部事業計画KPI達成状況

## 保険者機能強化アクションプラン(第4期)

協会けんぽの中期計画である保険者機能強化アクションプラン(第4期)では、保険者機能について主に 以下の三つの類型に大別し、目的・目標を整理しています。

また、平成30年度以降は、保険者機能強化アクションプランを中期計画と明確に位置付けてKPIを設定するととともに、それを踏まえた事業計画の策定や評価を通じた改善を行うことにより、PDCAサイクルを強化することとしています。

保険者機能	目的 • 目標
甘般的伊险老쌣纶	・レセプトや現金給付の審査・支払を適正かつ効率的に行うことにより、加入者に良質なサービスを確実に提供する。
基盤的保険者機能   	・同時に、不正受給対策などによる医療費の適正化を通じて、協会けんぽの財政を含めた制度の維持可能性を確保する。
戦略的保険者機能	事業主とも連携して、加入者の健康の維持・増進を図ること、地域の医療提供体制の在り方にも積極的に関与すること、効率的かつ無駄のないサービスが提供されるよう働きかけを行うこと等により、以下の内容を目指し、もって加入者・事業主の利益の実現を図っていく。
我叫自以外没有一般化	I 医療等の質や効率性の向上 II 加入者の健康度を高めること
	Ⅲ 医療費等の適正化
組織体制の強化	基盤的保険者機能と戦略的保険者機能の本格的な発揮を確実なものとするため、人材育成による組織力の強化を図るとともに、標準人員に基づく人的資源の最適配分や支部業績評価による協会けんぽ全体での取組の底上げなど、組織基盤を強化していく。

# 平成30年度青森支部事業計画 KPI達成状況

KPI設定項目		青森支部KPI	29年度実績	30年度上期実績	全国平均
1. 基盤的保険者機能関係					
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施	術の申請の割合	0.65%以下	0.65%	0.65%	1.3% (30年8月末時点)
サービススタンダードの達成状況		100%	100%	100%	99.99%
現金給付等の申請に係る郵送化率		87.0%以上	81.4%	86.4%	88.7%
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合		83.0%以上	77.9%	81.4%	81.2%
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率		90.0%以上	89.9%	86.0%	12月末集計予定
社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率		0.240%以上	0.239%	0.258%	0.387%
日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率		94.0%以上	93.43%	95.39%	91.13%
医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合		0.018%以下	0.019%	0.045%	0.075%
返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率		70.0%以上	69.59%	47.61%	37.40%
現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配付した医療機関における利	用率	100%	66.7%	50.0%	35.0%
2. 戦略的保険者機能関係					
生活習慣病予防健診実施率		58.0%以上	55.8%	33.9%	22.2%
事業者健診データ取得率		8.0%以上	8.3%	2.9%	2.1%
被扶養者の特定健診受診率		27.0%以上	24.3%	10.7%	8.0%
被保険者・被扶養者合計の健診実施率		57.0%以上	55.2%	31.1%	_
被保険者・被扶養者合計の特定保健指導実施率		19.4%以上	14.7%	15.2%	14.7%
受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合		11.1%以上	8.5%	_	9.2%
健康宣言事業所数 (※支部独自設定)		400社	222社	305社(1.63%)	21,163社(0.99%) (30年6月末時点)
広報活動における加入者理解率の平均		30.1%以上	30.1%	_	12月末集計予定
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合		38.70%	37.98%	38.38%	37.74%
ジェネリック医薬品使用割合		77.0%	77.1% (30年3月分)	77.8% (30年6月分)	76.3% (30年6月分)
他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の	)参加率	80.0%以上	66.7%	83.3%	77.5%
「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見。	·····································	全支部で実施	_	_	4支部

# (1)現金給付の適正化の推進

### **KPI**

KPI 設定なし

# 平成30年度上期の進捗状況

- 加入直後の傷病手当金等について審査を強化し、不正受給の防止を図った。
- 支払い済みの給付データから、本部が抽出した事案について確認を行った。
- 不正が強く疑われて、支部内協議や事業所への立入検査を必要とする事案は発生しなかった。

- 引き続き、不正受給の可能性のある請求に対しては審査を強化する。
- 不正が強く疑われる事案については支部内で協議し、必要に応じて事業所への立入検査を行う。

# (2)柔道整復施術療養費等の照会業務の強化

#### KPI

柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合について 0.65%以下とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
柔道整復施術療養費申請割合	0.65%以下	0.65%	0.65%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 多部位かつ頻回など不適正である可能性のある請求について、加入者に文書照会を行った。
- 加入者への照会時にパンフレットを同封し、適正受診の促進を図った。

- 引き続き、不適正である可能性のある請求について、加入者への文書照会を行う。
- 加入者への照会時にパンフレットを同封し、適正受診の促進を図る。

### (3)サービス水準の向上

#### **KPI**

(※サービススタンダード=傷病手当金などの給付金について受付から振込までを10営業日以内に完了する。)

- ① サービススタンダードの達成状況を100%とする。
- ② 現金給付等の申請に係る郵送化率を87.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
① サービススタンダードの達成状況	100%	100%	100%
② 現金給付等の申請に係る郵送化率	87.0%以上	86.4%	81.4%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 適切な進捗管理を行い、サービススタンダード100%を達成した。
- ② 郵送による申請手続きを推進するため、各種広報や健康保険委員研修会等で周知を行った。 八戸年金事務所に設置の協会窓口について検討し、今年度末での業務終了を決定した。

- ① 進捗管理を徹底し、サービススタンダードの達成状況100%を継続する。
- ② 郵送での申請手続きについて、各種広報や健康保険委員研修会等で周知を行う。 ハ戸の協会窓口の業務終了について、関係団体への説明や各種広報により充分な周知を行う。

### (4)限度額適用認定証の利用促進

#### KPI

高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を83.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
限度額適用認定証使用割合	83.0%以上	81.4%	77.9%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 限度額適用認定証の利用を促進するため、各種広報や健康保険委員研修会等で周知を行った。
- 医療機関に対し申請書の窓口設置を依頼し、加入者が利用しやすい環境づくりに努めた。

- 限度額適用認定証の利用を促進するため、各種広報や健康保険委員研修会等で周知を行う。
- ・ 限度額適用認定証の利用の少ない医療機関に、利用拡大について電話や訪問により協力依頼を行う。

## (5)被扶養者資格の再確認の徹底

#### **KPI**

被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を90.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
被扶養者状況確認書提出率	90.0%以上	86.0%	89.9%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 本部通知に則って事業を進めた。
- 確認書が未提出となっている事業所に対する提出勧奨を段階的に開始した。

### 平成30年度下期の取組内容

• 確認書が未提出となっている全ての事業所に対して、提出勧奨を実施する。

## (6)効果的なレセプト点検の推進

#### KPI

社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について、0.240%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
レセプト点検の査定率	0.240%以上	0.258%	0.239%

### 平成30年度上期の進捗状況

自動点検ツールの有効活用や相互の点検スキルアップにより、前年度同期と比較して金額では1600万円、 合算査定率では0.043ポイント上回った。

### 平成30年度下期の取組内容

定例の事務打ち合わせや、支払基金職員と協会けんぽレセプト点検員との合同研修会を通して、レセプト 内容点検に関して相互理解・共通認識を深め、医療費の適正化に努める。

### (7)返納金債権の発生防止のための保険証回収強化

#### KPI

日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を94.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
保険証回収率	94.0%以上	95.39%	93.43%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 文書により、証未返納者に対する喪失処理後2週間以内の催告を3,500件実施した。
- 資格喪失届等へ証添付が必須であることについて、研修等の機会で広報した。
- 年金事務所の来客者用掲示板コーナーに、無効証の添付又は早期返納喚起ポスターを掲示した。

- 資格喪失処理後2週間以内での証返納催告を、計画どおり実施する。
- 証回収不能届提出者で、電話番号判明の場合は、架電による返納督励を実施する。
- 担当者向け事務説明会や研修会を通して、資格喪失届へ証添付の励行を広報する。

# (8)債権回収業務の推進

#### **KPI**

- ①医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を0.018%以下とする。
- ②返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率を70.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
①返納金の割合	0.018%以下	0.045%	0.019%
②返納金の回収率	70.0%以上	47.61%	69.59%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 返納金の割合については、遡及喪失者が想定を超えて発生したため、苦戦を強いられている。
- 回収率については初回催告151件、保険者間調整による回収11件など長期未納防止策を丁寧に実施した。

- 納付期限1か月経過時点の未納者に対して、文書催告を実施する。
- 納付拒否者や約束不履行者に対して、業務処理手順により、支払督促などの法的手段を講じる。
- 健保喪失後に国保加入が判明した者には、積極的に保険者間調整を案内し、確実な納付に繋げる。

# (9)オンライン資格確認の導入に向けた対応

#### **KPI**

導入済医療機関における利用率100%を目標とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
利用率	100%	50.0%	66.7%

### 平成30年度上期の進捗状況

• 導入済医療機関への電話勧奨

### 平成30年度下期の取組内容

• 平成31年度、国のオンライン資格確認への対応が予定されており、特段の取組は予定していない。

# (1)データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な実施①

### **KPI**

KPI 設定なし

## 特定健診・特定保健指導の推進

- 受診率向上の取組み(まちかど健診、集合バス健診、デビュー年齢へ勧奨等)
- 特定保健指導の取組み(健診当日の保健指導推進、まちかど保健指導等)

### コラボヘルスの取組

- 支部健康宣言事業、青森県・経済産業省の健康経営認定制度の推進
- 健やか隊員育成プログラム、職場における喫煙対策、高血圧対策

### 重症化予防の対策

- 未治療者に対する受診勧奨
- 糖尿病性腎症重症化予防

# (1)データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な実施②

### **KPI**

KPI 設定なし

### 平成30年度上期の進捗状況

- 特定健診・特定保健指導の推進(集合バス健診、健診当日の保健指導推進)
- コラボヘルスの取組の推進(支部健康宣言事業、健やか隊員育成プログラム、職場の血圧・脈拍測定促進事業3社)
- 重症化予防対策の推進(未治療者に対する受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防)

- 特定健診・特定保健指導の推進(まちかど健診、まちかど保健指導、デビュー年齢へ勧奨等)
- コラボヘルスの取組の推進(青森県・経産省の健康経営認定制度の推進)
- 重症化予防対策の推進(未治療者に対する受診勧奨、糖尿病性腎症重症化予防)

## (2)生活習慣病予防健診の受診率向上

#### **KPI**

生活習慣病予防健診実施率を58.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
生活習慣病予防健診実施率	58.0%以上	33.9%	55.8%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 健診推進経費を活用した受診率向上(対前年伸び率3%を超えた場合:@756円、5機関)
- 新規適用事業所(479事業所)、任意継続加入者(3,147件)への健診案内及び集合バス健診(235事業所)案内送付
- 契約健診機関の少ない地域への集合バス健診(検診車による出張健診)実施・・・7月六ヶ所村

- 健診推進経費を活用した受診率向上(継続)
- 新規適用事業所への健診案内及び集合バス健診案内送付
- 契約健診機関の少ない地域等での集合バス健診(検診車による出張健診)を予定・・・12月むつ市、2月八戸市

# (3)事業者健診データ取得率の向上

#### KPI

事業者健診データ取得率を8.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
事業者健診データ取得率	8.0%以上	2.9%	8.3%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 健診推進経費を活用した受診率向上 (①健診機関による同意書取得:@2,160円、3機関 ②事業者健診データ早期提供:@432円、4機関)
- 労働局との連名による事業者健診結果提供に関する依頼文書送付(500事業所)

- 健診推進経費を活用した受診率向上(継続)
- 事業者健診データ取得勧奨及び紙媒体のデータ化の外部委託

### (4)特定健診受診率の向上

#### KPI

被扶養者の特定健診受診率を27.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
特定健診受診率	27.0%以上	10.7%	24.3%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 健診推進経費を活用した受診率向上(協会主催の休日実施の集団健診:@432円、3機関)
- 新規被扶養者(4,619件)、集合バス健診(401名)、まちかど健診(4会場分、27,743件)対象者への健診案内送付
- 集合バス健診実施する際に被扶養者の特定健診を同時実施・・・7月六ヶ所村

- 健診推進経費を活用した受診率向上(継続)
- 新規被扶養者、集合バス健診対象者への健診案内送付
- 集合バス健診における扶養者特定健診同時実施を予定・・・12月むつ市、2月八戸市
- ・ ショッピングセンターでのまちかど健診(特定健診)実施・拡大(H29:4会場541人→H30:11会場予定)
- 次年度特定健診デビュー年齢対象者への特定健診受診勧奨実施(輸送血液検査・文書による勧奨実施)

# (5)特定保健指導の実施率の向上及び平成30年度からの制度見直しへの対応

#### **KPI**

被保険者・被扶養者合計実施率19.4%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
特定保健指導実施率	19.4%(本人20.0%、家族8.0%)	15.2%(本人15.6%、家族2.5%)	14.7%(本人15.3%、家族1.7%)

### 平成30年度上期の進捗状況

- 生活習慣病予防健診委託機関における健診当日の特定保健指導実施を推進
- 協会けんぽ保健指導者のスキルアップ、研修会の開催(5月、8月)
- 積極的支援継続支援外部委託(委託件数 252件)
- 特定保健指導対象者への利用券送付(578件)

- ・ 保健指導者(自営および委託)のスキルアップ、研修会開催(10月、3月)
- 特定保健指導対象者への利用券送付
- ショッピングセンターにおけるまちかど健診当日の保健指導実施(5会場) (協会けんぽ保健指導者による初回分割実施)

### (6) 重症化予防対策の推進

#### KPI

「受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者」の割合を11.1%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
「受診勧奨後3か月以内に医療機関を 受診した者」の割合	11.1%以上	_	8.5%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 未治療者に対する受診勧奨(二次勧奨文書発送 444人、訪問による個別面接 110人)
- 個別面接時の未治療者を受診まで追跡フォロー
- 弘前市医師会との連携協定による糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施

- 未治療者に対する受診勧奨・受診状況確認
- 個別面接時の未治療者を受診まで追跡フォロー
- 青森市医師会との糖尿病腎症に係る重症化予防事業の連携

### (7)健康経営(コラボヘルスの推進)、ビッグデータを活用した事業所単位での情報提供

### KPI(支部独自設定)

健康宣言事業所数:平成30年度 目標400社

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
健康宣言事業所数	400社	305社	222社

### 平成30年度上期の進捗状況

- 事業所健康度診断書(事業所カルテ)の発行及び健康情報誌「季節の健康」の配付(4月~9月)
- 「喫煙対策・会社の健康づくり対策についてのアンケート」の実施(6月)
- 健康経営及び健康宣言事業について納入告知書を活用した広報の実施(7月)

- 健康宣言の未実施事業所に対して文書及び訪問による勧奨
- 事業所健康度診断書(事業所カルテ)の発行及び健康情報誌「季節の健康」の配付
- 「短命県返上ヘルスサポートサービス」に参加していただける企業の募集

## (8)広報活動による加入者等の理解促進

#### KPI

※加入者理解率とは、法令や協会けんぽの事業等について、どれだけ加入者に理解されているか表すものである。 インターネット調査により理解率を把握し、特に加入者に理解されていない事項について重点的に広報を行う。

広報活動における加入者理解率※の平均について30.1%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
加入者理解率の平均値	30.1%以上	_	30.1%

### 平成30年度上期の進捗状況

#### 【紙媒体による広報】

- 全事業所に対して毎月1回、納入告知書発送時にチラシを送付
- 社会保険協会が発行している広報紙「社会保険あおもり」へ健康保険 に関する記事を掲載
- 青森商工会議所と連携した健康宣言事業に関する広報を実施
- 自治体(青森市・弘前市)と連携して、被扶養者の特定健診及びがん検 診の同時受診にかかる共同広報の実施(4月)

#### 【電子媒体(HP、メールマガジン等)による広報】

- ホームページにおいて、健康宣言事業に関する情報等、健康づくりに 関する情報を随時更新
- 毎月1回、健康づくりに関する情報等をメールマガジンで配信
- 健康宣言時にメールマガジン登録を必須とするなど、新規登録者募集 に関する取組みを推進

- 健康宣言取組み事業所のTVCM紹介を実施(12月~3月まで放送予定)
- WEBチラシを活用した特定健診及びジェネリック医薬品の使用促進にかかる広報の実施(2月)
- 平成31年度保険料率改定に伴う新聞広告の掲載
- 支部ホームページやメールマガジンによるタイムリーな情報発信

### (9)健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

#### KPI

全被保険者数に占める「健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数」の割合を38.7%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
「健康保険委員が委嘱されている事業 所の被保険者数」の割合	38.7%以上	38.38%	37.98%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 新規適用事業所に対して健康保険委員募集の文書勧奨を実施
- 算定基礎届説明会及び初任者向け研修会において、健康保険委員募集の案内(6月、9月)
- 健康宣言時に健康保険委員の登録を必須とした。(7月)

- 健康宣言をしていない事業所に対して、健康宣言と併せた文書勧奨の実施
- 支部長及び支部職員による訪問勧奨の実施(大規模事業所を中心に健康宣言の勧奨と併せて実施)
- メールマガジンやリーフレットを活用し、健康保険委員募集の広報を実施

### (10)ジェネリック医薬品の使用促進

#### KPI

ジェネリック医薬品使用割合を77.0%以上とする。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
ジェネリック医薬品の使用割合	77.0%以上	77.8%(平成30年6月分)	77.1%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 薬局ごとのジェネリック医薬品使用割合等の情報を提供 (5月 574件)
- 支部レセプト分析に基づく「医薬品実績リスト」(中枢神経用薬・呼吸器官用薬・外皮用薬の医薬品別後発品使用割合情報)を作成し、県内の保険薬局へ情報提供を実施 (8月 約600件)
- 先発医薬品を服用している加入者に対してジェネリック医薬品軽減額通知を送付 (8月 43,860件)
- 普及啓発広報の実施(8月納入告知書、メールマガジン、社会保険あおもりにて記事を掲載)

- 青森県薬剤師会と連携し、公立病院での処方箋FAXコーナーを活用した広報の実施
- ジェネリック医薬品軽減額通知の発送(2月予定)
- 普及啓発広報の実施(ジェネリック医薬品軽減額通知の広報を納入告知書、メルマガ、WEBチラシ等で実施)

# (11)インセンティブ制度の本格導入

**KPI** 

KPI 設定なし

## 平成30年度上期の進捗状況

- インセンティブ制度は、これまでの運営委員会や支部評議会の議論を踏まえ、健康保険法施行令の一部を改正する政令及び健康保険法施行規則の一部を改正する省令が公布され、平成30年度から本格実施している。
- インセンティブ制度の実施にあたっては、加入者の行動変容につながるような丁寧な周知広報を求められており、これまでの 青森支部における広報の取組状況は以下のとおり。

#### 【広報の実施状況(平成29年度及び平成30年度)】

広報の 種類	納入告知書同封チラシ	メール マガジン	健康保険委員	事務説明会	関係機関への広報	その他
実施状況	平成30年6月 実施	平成30年5月、 6月実施	健康保険委員、年金委員 合同研修会で説明	初任者社会保険事務 講習会で説明	・経済6団体を訪問して説明 ・経済団体(傘下)、市町村、社労士会等へ リーフレットを送付し広報協力依頼を実施	<ul><li>・青森県社会保険協会が発行する 広報誌に記事を掲載</li><li>・支部ホームページにて記事を掲載</li></ul>

### 平成30年度下期の取組内容

引き続きインセンティブ制度の丁寧な周知広報を行うとともに各指標の実施率向上に向けて取組の推進する。

### (12)医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

#### KPI

- ① 他の被用者保険(健保連・共済組合)との連携を含めた地域医療調整会議の参加率を80.0%以上とする。
- ②「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する。

指標	平成30年度目標	平成30年度上期実績	平成29年度実績
地域医療調整会議の参加率	80.0%以上	83.3%	66.7%

### 平成30年度上期の進捗状況

- 平成29年度時点では、青森県内6圏域のうち4圏域に被用者保険が参加(参加率66.7%)
- 平成30年7月に青森県保険者協議会へ、もう1圏域へ協会けんぽの参加を要請し、新たに西北五地域への参加に至り、参加率は83.3%となった。

### 平成30年度下期の取組内容

• 平成31年1月に全6圏域で会議開催予定。引き続き、被用者保険が5圏域に参加となるよう調整する。

# 5. 組織体制関係

# (1)人事制度の適正な運用と人員配置

取組内容	実績
① H28年度に新たに設置した「グループ長補佐」の 段階でマネジメント業務の基盤習得 ② 人員の適正配置による効率化・平準化の徹底	<ul><li>① グループ長・グループ長補佐合同による人事評価面談を実施(4月、9~10月)</li><li>② 業務部門にて事務分担変更による業務領域拡大、効率化の検討と実施により処理スピードを向上</li></ul>

# (2)人事評価制度の適正な運用

取組内容	実績
① 組織目標・役割定義に基づく自身の役割を意識した目標の設定と実態に即した評価の実施	<ul><li>① 支部全体とグループ目標を連動させた個人目標を面談により設定(4月、10月)</li><li>② 実績評価・フィードバックを実施(6月)</li></ul>

# (3)OJTを中心とした人材育成

取組内容	実績
① OJT・集合研修・自己啓発を組合わせた研修の実施	① 4/1付新規採用職員へ全グループを跨ぐOJT(4~9 月)保健師、レセプト点検員の支部内研修(4~9月)
② 定期的なジョブローテーションの実施	② グループを跨ぐジョブローテーション(10月・異動者4名)

# 5. 組織体制関係

# (4)費用対効果を踏まえたコスト削減等

取組内容	実績
① 物品等の調達に当たり競争入札の実施、消耗品のWeb発注を活用した適切な在庫管理	① 一般競争入札実施(上期1件)、消耗品のWeb発注と 消耗品受払簿による在庫管理を実施(通年)
② 調達や執行については調達審査委員会にて管理、ホームページへの調達結果の公表	② 調達審査委員会は上期3回(被扶養者に対する無料集 団健診業務委託、事務室移動に伴う工事作業等、事務室入 ロセキュリティ認証装置等移設工事)調達結果は全て ホームページへ公表

# (5)コンプライアンス、個人情報保護等の徹底

取組内容	実績
・業務マニュアル等統一的処理ルールの順守と徹底、個人情報保護や情報セキュリティに関する規程等の順守、アクセス権限パスワードの適切な管理	・統一的処理ルールの順守・徹底、平成30年度コンプライアンスプログラムを策定、個人情報保護管理委員会、コンプライアンス委員会を上期2回ずつ開催のほか、月例会議にて情報セキュリティを含めコンプライアンス実践状況の進捗確認を実施